

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

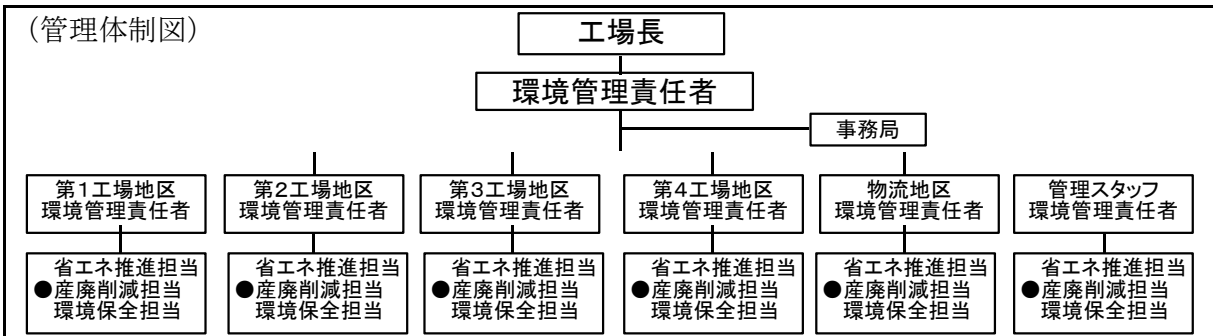
(第1面)

産業廃棄物処理計画書																																								
平成30年 6月 1日																																								
滋賀県知事 三日月 大造 殿																																								
提出者 住 所 滋賀県東近江市下岸本町10番地 パナソニック ホームズ株式会社 湖東工場 氏 名 工場長 原田 健司 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0749-45-1551																																								
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。																																								
事業場の名称	パナソニック ホームズ株式会社 湖東工場																																							
事業場の所在地	滋賀県東近江市下岸本町10番地																																							
計画期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日																																							
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																																								
①事業の種類	鉄骨系プレハブ住宅製造業(2444) <工業化住宅部材の製造、販売>																																							
②事業の規模	生産高 218億円(2017年度)																																							
③従業員数	443名 (2018年5月現在)																																							
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・汚泥</td> <td style="width: 30%;">→(※焼却)</td> <td style="width: 30%;">→燃え殻→(焼却・熔融)→路盤材【再生】</td> </tr> <tr> <td>・汚泥</td> <td>→(※セメント原料化)</td> <td>→セメント用原料【再生】</td> </tr> <tr> <td>・廃油</td> <td>→(※混合)</td> <td>→セメント用燃料・原料【再生】</td> </tr> <tr> <td>・廃油、廃アルカリ</td> <td>→(※油水分離)</td> <td>→セメント用燃料・原料【再生】</td> </tr> <tr> <td>・廃プラスチック類</td> <td>→(※圧縮固化)</td> <td>→固形燃料【再生】</td> </tr> <tr> <td>・木屑</td> <td>→(※破碎)</td> <td>→燃料チップ、製紙チップ【再生】</td> </tr> <tr> <td>・乾電池</td> <td>→(※破碎・焼却)</td> <td>→燃え殻→(焼成)→路盤材、金属【再生】</td> </tr> <tr> <td>・ガラス陶磁器くず</td> <td>→(※破碎)</td> <td>→路盤材【再生】</td> </tr> <tr> <td>・ガラス陶磁器くず</td> <td>→(※破碎・焼却・焼成)</td> <td>→原材料【再生】</td> </tr> <tr> <td>・建設系混合廃棄物</td> <td>→(※焼却)</td> <td>→燃え殻→(焼成・焙焼)→路盤材【再生】</td> </tr> <tr> <td>・建設系混合廃棄物</td> <td>→(※選別・破碎)</td> <td>→<木屑><コンクリート屑></td> </tr> <tr> <td></td> <td>→<木屑>→(破碎)→燃料チップ、製紙チップ</td> <td>【再生】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>→<コンクリート屑>→(破碎)→路盤材</td> <td>【再生】</td> </tr> </table> <p>注) ※印はすべて再生利用者へ処理を委託、自社処理なし</p>	・汚泥	→(※焼却)	→燃え殻→(焼却・熔融)→路盤材【再生】	・汚泥	→(※セメント原料化)	→セメント用原料【再生】	・廃油	→(※混合)	→セメント用燃料・原料【再生】	・廃油、廃アルカリ	→(※油水分離)	→セメント用燃料・原料【再生】	・廃プラスチック類	→(※圧縮固化)	→固形燃料【再生】	・木屑	→(※破碎)	→燃料チップ、製紙チップ【再生】	・乾電池	→(※破碎・焼却)	→燃え殻→(焼成)→路盤材、金属【再生】	・ガラス陶磁器くず	→(※破碎)	→路盤材【再生】	・ガラス陶磁器くず	→(※破碎・焼却・焼成)	→原材料【再生】	・建設系混合廃棄物	→(※焼却)	→燃え殻→(焼成・焙焼)→路盤材【再生】	・建設系混合廃棄物	→(※選別・破碎)	→<木屑><コンクリート屑>		→<木屑>→(破碎)→燃料チップ、製紙チップ	【再生】		→<コンクリート屑>→(破碎)→路盤材	【再生】
・汚泥	→(※焼却)	→燃え殻→(焼却・熔融)→路盤材【再生】																																						
・汚泥	→(※セメント原料化)	→セメント用原料【再生】																																						
・廃油	→(※混合)	→セメント用燃料・原料【再生】																																						
・廃油、廃アルカリ	→(※油水分離)	→セメント用燃料・原料【再生】																																						
・廃プラスチック類	→(※圧縮固化)	→固形燃料【再生】																																						
・木屑	→(※破碎)	→燃料チップ、製紙チップ【再生】																																						
・乾電池	→(※破碎・焼却)	→燃え殻→(焼成)→路盤材、金属【再生】																																						
・ガラス陶磁器くず	→(※破碎)	→路盤材【再生】																																						
・ガラス陶磁器くず	→(※破碎・焼却・焼成)	→原材料【再生】																																						
・建設系混合廃棄物	→(※焼却)	→燃え殻→(焼成・焙焼)→路盤材【再生】																																						
・建設系混合廃棄物	→(※選別・破碎)	→<木屑><コンクリート屑>																																						
	→<木屑>→(破碎)→燃料チップ、製紙チップ	【再生】																																						
	→<コンクリート屑>→(破碎)→路盤材	【再生】																																						

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	3,330.6t	t
	(これまでに実施した取組)		
H29年度は工場地区全体の廃棄物削減活動により▲201tの廃棄物発生量を改善活動で削減（対計画▲4.9%に相当）			
(内訳)			
①木屑 ▲100.2t			
②ガラス陶磁器屑 ▲77.6t			
③廃プラスチック類 ▲22.1t			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	3,715.0t	t
	(今後実施する予定の取組)		
①石膏ボード加工工程における歩留り改善 ▲60t			
②木材加工工程における歩留り改善、端材活性化 ▲52t			
<▲3.0%以上の削減目標>			
※工場加工の増加に伴い廃棄物発生量が増加			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現在30品目に分別して管理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	上記分別管理の徹底と継続、及びサーマル処理品目の再資源化推進

(第2面 別紙①)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	11.9 t	25.7 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	排出量	32.4 t	207.1 t
	(これまでに実施した取組) 【廃プラ】自動コーキングロボット導入による歩留り改善 ▲9.0t 【廃プラ】スチレンカット加工ライン歩留り改善など ▲13.2t (割付変更/原板サイズ変更/設備改善など)		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	乾電池
	排出量	1,686.7 t	— t
	(これまでに実施した取組) 【木屑】屋根ラインにおける合板端材有償化 ▲61.2t 【木屑】枠材加工ラインにおける木材歩留り改善 ▲26.5t (設計仕様変更/新規原板設定/端材活性化など) 【木屑】木材端材の基礎鉄筋リン木への活性 ▲3.6t 【木屑】その他木屑発生量削減活動 ▲8.9t		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設系混合廃棄物
	排出量	1,184.0 t	182.8 t
	(これまでに実施した取組) 【陶磁器屑】石膏ボード製品寸法変更による廃棄物削減 ▲54.0t 【陶磁器屑】石膏ボード(キッチン腰壁)親板サイズ変更 ▲23.6t 【陶磁器屑】外装材自動割付け後の手作業による端材削減 ▲0.5t		

(第2面 別紙②)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	29.8 t	25.4 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	排出量	32.1 t	205.2 t
	(今後実施する予定の取組) 【廃プラ】断熱材加工ラインにおける歩留り改善 ▲2.0 t		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	乾電池
	排出量	1,680.2 t	0.1 t
	(今後実施する予定の取組) 【木屑】木材加工カットライン不良材有償化 ▲40.0 t 【木屑】木屋根ライン垂木加工の歩留り改善 ▲8.0 t		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設系混合廃棄物
	排出量	1,543.2 t	199.0 t
	(今後実施する予定の取組) 【陶磁器屑】石膏ボード加工工程における歩留り改善 ▲60.0 t 【陶磁器屑】外装材切断割付け変更による端材削減 ▲2.0 t		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	—
	全処理委託量	3,330.6t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	461.1t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2,869.5t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	— t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・全委託業者に対する現地確認（1回/年）を実施し、処理委託先選定（確認）シートにより委託可否を判定する ・できるだけ優良事業者より選定する ・電子マニフェストへの対応を選定の条件とする 			

(第4面 別紙①)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	11.9 t	25.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t	5.7 t
	再生利用業者への処理委託量	10.2 t	20.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	全処理委託量	32.4 t	207.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	32.4 t	130.7 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	76.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

(第4面 別紙②)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成29年度）実績】			
産業廃棄物の種類	木屑	乾電池	
全処理委託量	1,686.7 t	0 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	
再生利用業者への処理委託量	1,686.7 t	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			
特になし			
【前年度（平成29年度）実績】			
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設系混合廃棄物	
全処理委託量	1,184.0 t	182.8 t	
優良認定処理業者への処理委託量	107.8 t	182.8 t	
再生利用業者への処理委託量	1,076.2 t	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			
特になし			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	3,715.0t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	511.0t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	3,204.0t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	— t
	(今後実施する予定の取組)		※継続
<ul style="list-style-type: none"> ・全委託業者に対する現地確認（1回/年）を実施し、 処理委託先選定（確認）シートにより委託可否を判定する ・できるだけ優良事業者より選定する ・電子マニフェストへの対応を選定の条件とする 			
※事務処理欄			

(第5面 別紙①)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	29.8 t	25.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.3 t	5.6 t
	再生利用業者への処理委託量	25.5 t	19.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	全処理委託量	32.1 t	205.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	32.1 t	129.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	75.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第5面 別紙②)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	乾電池
	全処理委託量	1,680.2 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託量	1,680.2 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設系混合廃棄物
	全処理委託量	1,543.2 t	199.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	140.5 t	199.0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,402.7 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		